

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2002/04/06 Vol. 93 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 14 年第 1 回定例会報告 (3)

いつもお世話になっております。印西市議会 (3 月定例会) は、27 日 (水曜日) で閉会しました。今回は、3 月議会での私の一般質問と市当局の回答を中心にご報告をさせていただきます。

3/1 (金曜日) に、一般質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

2. 都市交通環境の整備について

誰もが安全で気軽に移動できる交通環境を整備することは、従来にもまして強く求められています。印西市では、どのような交通政策を考えているのでしょうか。

(1) 印西市内には、車を運転しなければ市役所に簡単に行くことができない場所が多くある。市では、この事実をどのように捉え、今後どのようにしていくつもりか。

(回答 / 助役) 本市の交通環境は、鉄道が JR 成田線と北総公団線の 2 路線、バス路線が千葉レインボースの 5 路線と北総交通が 1 路線、その他としてふれあいバスが運行されております。市民の日常生活を支え、誰もが利用できる身近な交通手段として、特にバス路線は、重要な役割を担っております。しかしながら、大部分の路線が少ない運行本数となっており、利便性という観点から市民の皆様からも、改善を求める声が聞かれます。いずれの路線におきましても、現状では、大幅な利用者の伸びは望めず、事業者におきましても、これが大きな課題になっているものと認識しております。しかしながら、少子高齢化社会の到来が迫っている現在、高齢者などバスに頼らざるをえない皆さんにとりましては、バスはかけがいのない「移動手段」つまり「日常生活を支える足」であると認識しております。そこで、本市の現状を見ますと、2 つの鉄道路線で 4 つの駅がありますが、その駅間を結ぶ公共交通機関がない状況にあります。そこで、市といたしましては、市内全域を通して、公共交通機関を利用して市役所や駅への移動が可能になることが理想でございますが、まずは駅と駅をいかに結び、また利便性を向上させるかが課題と認識しております。つきましては、ふれあいバスの在り方を含め、バス事業者などをはじめとした公共交通機関との十分な協議、検討が必要と考えております。

(ぐんじとしのりからの再質問と回答)

< 再質問 > 例えば、印西市から勝田台やユーカリが丘等への地域外交通について、どのように考えているのか？

< 回答 / 助役 > 地域外交通につきましても重要な課題として認識しております。現在、国土交通省が事務局となり、開催されている「ニュータウン連携・交流ワークショップ」で千葉ニュータウンの課題の一つとして「地域外広域交通網の強化」が上げられているところです。この交流会は、千葉、多摩、港北ニュータウンの自治体や公団などの関係者により、ニュータウンの抱える課題の解決方法について、議論を行い情報の共有化を進めるとともに、解決方法を見出していくというものでございますので、今後、このワークショップの中で、ニュータウンの課題として、新住事業者とともに、検討して参りたいと考えております。併せて、既存公共交通のあり方につきましても調査研究を進めてまいらなければならない課題と認識しております。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回、引き続き 3 月議会のご報告を中心にさせていただきます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と考えていきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

ぐんじとしのり

上には記載されていませんが、今年も「誕生児支援金給付事業（1子一万円、2子二万円、3子以降三万円を支給する）」は、継続して行われます。

* ぐんじとしのりの活動

4月8日(月曜日) 西の原中学校の入学式にお伺いさせていただきます。

4月9日(火曜日) 原小学校の入学式にお伺いさせていただきます。

おめでとうございます。